

# ホタテガイ採苗速報

成熟は全湾でさらに進んでいます

平成27年2月2日～5日に湾内8地点で養殖2年貝の成熟度調査を、2月4日～6日に東湾2地点で地まき貝の成熟度調査を行ったので、その結果をお知らせします。

## 1 ホタテガイ成熟度調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、西湾平均で24.5と、平年（21.1）よりもやや高く、東湾平均では22.2、全湾平均では23.2と、平年（それぞれ24.0、22.5）とほぼ同じ状況となっています（図1～2）。各地の測定結果は表1のとおりです。

地まき貝の生殖巣指数は19.3と、平年（17.4）よりやや高い状況となっています（図3）。各地の測定結果は表2のとおりです。

表1 垂下養殖2年貝の測定結果（調査基準日 2月5日）

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部 重量(g)	軟体部 指數	生殖巣 重量(g)	生殖巣 指數
蓬田村	2月4日	10.2	110.3	47.3	42.9	11.9 (9.4)	25.1 (19.8)
青森市奥内	2月4日	10.3	128.1	43.5	34.0	11.1 (9.4)	25.4 (21.3)
久栗坂実験漁場	2月5日	10.8	126.4	57.5	45.5	13.3 (14.2)	23.1 (23.0)
※平内町茂浦	2月4日	9.5	75.7	32.9	43.4	5.8 (9.2)	17.5 (19.6)
西湾平均		10.4	121.6	49.4	40.8	12.1 (10.9)	24.5 (21.1)
野辺地町	2月5日	10.6	142.5	66.3	46.6	13.3 (16.9)	20.1 (26.2)
むつ市	2月2日	9.2	96.1	42.7	44.4	9.1 (10.7)	21.3 (23.2)
川内町	2月4日	9.5	109.1	47.0	43.4	9.9 (12.1)	21.0 (23.0)
川内実験漁場	2月4日	10.4	109.2	51.3	47.0	13.4 (12.8)	26.2 (23.5)
東湾平均		9.9	114.2	51.8	45.4	11.4 (13.3)	22.2 (24.0)
全湾平均		10.1	117.4	50.8	43.4	11.7 (12.1)	23.2 (22.5)

():H5-H26の平年値  
 ※平内町茂浦:参考値

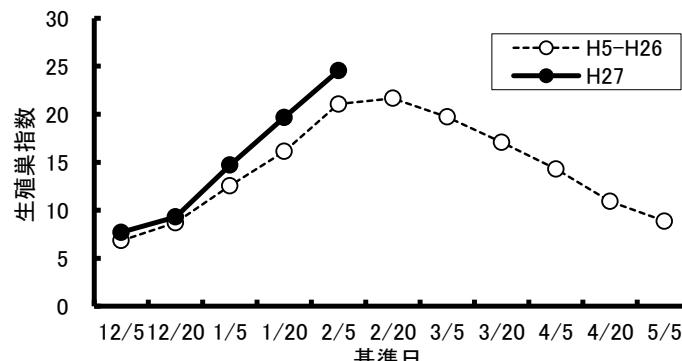


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(西湾平均)

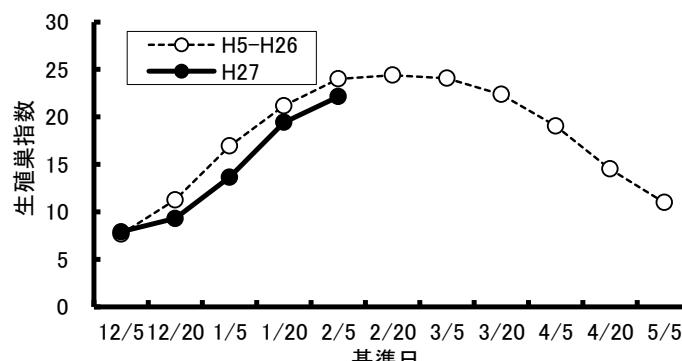


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

表2 地まき貝の測定結果（調査基準日 2月5日）

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部 重量(g)	軟体部 指數	生殖巣 重量(g)	生殖巣 指數
※野辺地町	2月6日	8.0	53.7	20.9	38.9	3.7 (10.7)	17.7 (16.7)
むつ市	2月4日	11.3	156.0	72.9	46.8	15.1 (10.6)	20.8 (17.9)
東湾平均		9.7	104.9	46.9	42.9	9.4 (9.7)	19.3 (17.4)

():H5-H26の平年値

※野辺地の平年値:様々な年級群が混在しているため、参考値

※川内町:調査対象貝を放流できなかったため除外

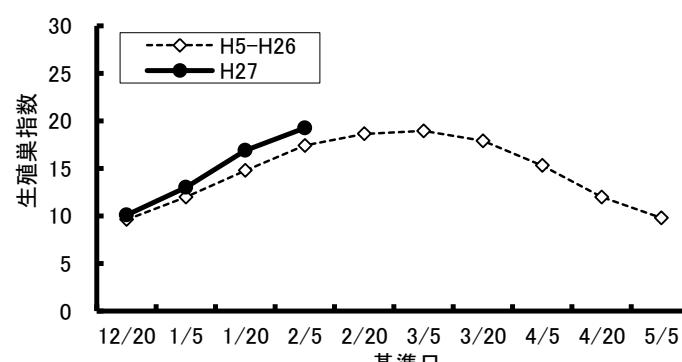


図3 地まき貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

## 2 海況

各ブイの2月2日～8日の平均水温は表3のとおりです。平年と比較すると、平館ブイと東湾ブイの15m層でいずれも平年並みとなっています。

## 3 今後の見込み

成熟は全湾でさらに進んでいます。今後、水温の昇温刺激があると、産卵が始まる可能性があります。産卵時期及び採苗器投入時期については、今後の情報を参考にしてください。

また、親貝の生殖巣重量は、西湾では平年並みですが、東湾では平年より低い値であることから、貝1枚当たりの産卵数が平年より少なくなる可能性があるため、効率よく稚貝を確保するために採苗器を例年よりも多めに準備してください。

観測地点	水温(°C)	観測地点	水温(°C)
平館ブイ	9.1～9.1	野辺地ブイ	6.1～6.1
奥内ブイ	7.6～8.0	東湾ブイ	5.0～5.3
青森ブイ	-	浜奥内ブイ	4.3～4.4

-:欠測

広がる海の知識！  
 身につける新たな技術！ 漁業後継者育成研修『賓陽塾』

塾生募集中！！ 詳しくは水産総合研究所 ほたて貝部まで

